

代表取締役社長  
菅原裕典 氏



■(株)清月記の概要

[所在地] 仙台市宮城野区日の出町  
2-5-4  
[設立] 1985年 3月  
[代表者] 菅原裕典  
[葬祭会館] 31か所



Before



前事業者の建物は仏壇店がメイン



昔ながらの畳敷きの遺族控室

造地上2階建てで、仏壇店をメインに位置づけていたため、式場よりも仏壇店スペースを大きくとっていた。また、2階には控室があるにも関わらずエレベータがなかった。そこでリノベーションにあたり、2階への行き来を考え、新たにエレベータを新設した。そのほか大きな変更点としてはエントランス位置を変えている。こちらも2か月ほどの工事期間を経て再生。

前事業者とは、当初は業務提携によるもので、前事業者に依頼があったものはリブランド・リノベーションにより新生なった仙台中田斎場清月記で施行するという関係であったが、いまでは前事業者への依頼による送客はほとんどなくなっている。

他社会館活用は、リノベーションするかスクラップ&ビルドか、土地・建物所有者との関係や営業年数、稼働率など総合的な判断が必要だ

After



リノベーション前のエントランス位置(写真左側)にエレベータを新設し、エントランスを写真右側に変えた「仙台中田斎場 清月記」



和洋室の控室にリノベーション



式場はリノベーションにより150席へと増席

が、ゼロベースで土地を探す手間がはぶけ、反対運動もほぼ起こらないメリットはある。菅原社長は他社会館活用について、「その場所が当社にとって出店する意味があれば、清月記流にリノベーションすることによって再生は可能です。M&Aというよりは事業再生といえるでしょう。前事業者や地主などとの良縁があれば、今後もこうした手法による展開は検討していきます」と語る。